

50th おきなわ市トピックス

8/5・6 スポーツを通して豊中市と交流



豊中市・沖縄市兄弟都市提携50周年を迎えるにあたり、友好と信頼の絆を未来に繋ぐことを目的にスポーツ市民交流が行われました。

豊中市の少年軟式野球チーム及びミニバスケットボールチームから35人の児童が沖縄市を訪れ、本市のバスケ男女市内選抜チームと市内野球チーム「美東ドラゴンズ」「比屋根タイガース」が交流試合を行いました。

スポーツを通して、豊中市と沖縄市の交流を次世代へ繋いでいきました。



8/5 阿智村の小・中学生と交流

長野県阿智村の小・中学生13人が自然体験・平和学習を目的に県内に3日間訪れました。阿智村と沖縄市の交流が平成16年から行われていることから、市役所に表敬訪問が行われました。

阿智村の子ども達は「信州と沖縄の文化の違いを知ることができて勉強になった」「海を初めて見た。とても綺麗だった」など初めて沖縄に来た感想を楽しそうに話しました。



8/7 クイズで楽しく“学童大交流会”

沖縄市学童保育連絡協議会東ブロック大交流会が、県総合運動公園レクドームにて初開催され、ハレルヤ児童クラブなど6つのクラブが参加しました。

〇×クイズで、琉球ゴールデンキングスのマスコット“ゴディー”がサプライズで登場すると子どもたちは大喜び。学年別かけこも行われ、学童間の交流を深めました。



8/8 メイン通り一斉清掃

沖縄市民憲章推進協議会が主催し、市民自らの手によるきれいで清潔なまちづくり運動の機運を盛り上げていくことを目的に、コザゲート通りや中央パークアベニューなど、市内メイン通りの一斉清掃が行われ、約300人の市民が参加しました。

約1時間の清掃活動で、可燃ごみ970kg、不燃ごみ1,560kgが回収されました。



8/8 夏休み防災イベント

高原小学校区域において、夏休み防災イベントが開催され、約150人の市民らが参加しました。

美東中学校でマンホールトイレの使用方法を実演し、高原自治会まで徒歩で避難してみるなど、災害時に役立つ知識を実演形式で学びました。参加した児童は「新聞紙でスリッパを作るのが楽しかった」と話しました。



8/9 豊中市から音楽の贈り物



豊中市と沖縄市の兄弟都市提携50周年を祝い、豊中市から小学生4人とNPO法人キッズサーカス(理事長 日野恵美)が市役所で、ミニコンサートを開催しました。

市役所ロビーで行われたコンサートでは、プロ歌手のクラシックやミュージカル、子ども達による沖縄の歌「ゆいゆい」が披露され、集まった市民らは豊中市から音楽の贈り物を受け取りました。



8/9 沖縄市文化協会新役員

沖縄市文化協会の新会長に就任した比屋根清隆会長並びに役員らが就任挨拶のため市役所を訪れました。協会は来年度に創立70周年目の節目を迎えます。比屋根会長は「これからもどんどん会員を増やしていこうと思う」と挨拶しました。

山内副市長は「伝統文化を継承していくことは大切なこと」と激励しました。比屋根会長が描いた絵画が市に寄贈されました。



8/10 図書館で夏休み作品づくり

市立図書館が一番街にある「コザ工芸館ふんどう」や「オキナワムービーの店ラ・セヌ」と連携して、図書館で小学生夏休み作品づくりが行われ、小学生36人が参加しました。

カブトムシの組立・色塗りなどの作品づくりに取り組んだ子ども達は「かっこいいものが作れて嬉しい」「難しかったけど楽しかった」など完成品を見て嬉しそうに話しました。



8/14 新たな定期航路の創出に期待

沖縄市では、新たな定期航路の創出に向けた実証事業「中城湾港新港地区物流促進事業」を開始しました。

関係者とともに記者発表を行った平田副市長は、「中城湾港新港地区及び周辺地域における物流の増加と効率化を図るとともに、産業集積を促進し、地域の雇用創出や市民所得の向上に寄与することを目的としております」と趣旨を説明しました。



7/19～9/29 全島エイサー1974写真展



市制施行50周年記念し、「全島エイサー1974写真展」がエイサー会館で行われました。

沖縄市が誕生した1974年開催の「第1回沖縄市全島エイサーコンクール」を記録した71枚の貴重な写真が展示されました。「コンクール」から「まつり」へと時代と共に変化してきたエイサーの歴史を辿る写真展に興味深く見入る市民の姿が見られました。



8/16～18 無縁仏に手を合わせる

旧盆の期間中、旧盆の伝統行事であるウンケーやウークイが行われました。8月16日、市役所2階にある仏壇では重箱や果物等を供え、平田副市長、山内副市長や市職員らが線香をあげて精霊をお迎えしました。

市倉敷にある納骨堂では、公共工事等で発見された遺骨や引き取り手のない遺骨等1,446柱を納骨しています。



50th おきなわ市トピックス

8/20 姉妹都市東海市から職員が派遣

姉妹都市である愛知県東海市との交流の一環として職員相互派遣により、消防署警防課消防副士長の八鉤圭司^{やつる けいし}さんが沖縄市役所に派遣されました。

八鉤さんは「50周年という節目の年に来ることができて光栄です」と話し、派遣期間の8月20日～9月13日に市消防本部や文化芸術課等で勤務しました。



東海市から派遣された八鉤圭司さん(右から2人目)

8/24 平和への願いを込めて

9月7日の沖縄市民平和の日を前に、市立図書館で「平和を考える特別おはなし会」が開催されました。

平和をテーマにした絵本や紙芝居の読み聞かせが行われ、参加者は静かにおはなしに聞き入っていました。

平和に関連した資料展示やメッセージボードも設置され、多くの利用者が足を止めている様子が見られました。



8/26～30 沖縄絵手紙展

市役所1階市民ホールにて「創立30周年記念絵手紙展」が開催されました。はがきサイズやうちわ型、大型サイズなど様々な形の彩り豊かで用紙からはみ出す躍動感のある絵手紙が展示されました。

沖縄絵手紙協会の新垣淑明会長は「公民館や小学校で絵手紙を教える等の地域活動も行っている。絵手紙を通して交流してほしい」と話しました。



8/21 小学生サッカー県大会優勝

コザ小学校を拠点に活動するサッカークラブ「FCカマラダ沖縄」が第44回新報児童オリンピック少年サッカー大会に出場し、プレミアブロックで優勝したことを山内副市長、高江洲教育長に報告しました。

キャプテンの渡久地礼希^{とぐち れき}さん(北中城小4年)は「九州大会でもいい結果がでよう頑張ります」と意気込みを語りました。



8/25 沖縄アリーナをバスケの聖地に

沖縄アリーナにおいて、FIBAバスケットボールワールドカップが開催されたことをバスケットボールの日として受け継ぎ、沖縄アリーナがバスケットボールの聖地となることを目指しオキナワシティ バスケットボールデイが開催されました。小・中学生96人が参加し交流試合を行うとともに沖縄市出身で琉球ゴールデンキングスU18のヘッドコーチ与那嶺翼氏によるクリニックが実施され、競技力向上を図りました。



8/29 保育園児の避難訓練

市桃原のみちしお保育園(理事長 儀保和美)で保育園児の津波対策避難訓練が行われました。訓練では地震津波を想定し0歳から5歳の67人の園児が近くに立地する泡瀬市営住宅の6階屋上まで避難しました。園児たちは緊急津波警報発令放送の音量に驚き、事態を理解できない様子の園児もいましたが、保育士の呼びかけに従って、頑張って避難場所まで移動しました。

